

No. 11-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需			公的関与		5		作成日	28年 5月 23日			
事務事業名		元気老人サロン活動事業							シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち							課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							シート作成者				
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進							予算費目	会計	一般		
										款	3		
主要施策	⑤ 生きがいつくりと社会参加の促進							項		1			
								目		2			
個別計画名		高齢者福祉計画											
		介護保険事業計画											
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）								
	在宅でおおむね60歳以上の高齢者				身近な地域でのふれあいの場の提供を行い、生きがい対策及び介護予防対策の観点から各種事業を通じて高齢者が介護保険制度上の要支援、要介護状態になることの予防や閉じこもり防止に努める。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		健康指導、教養講座等の開催、趣味娯楽やスポーツ活動、健康体操、児童・生徒との世代間交流を各自治会単位で毎月1回以上実施し、地区公民館等会場までの歩行による足腰の鍛錬、各種事業への取り組みによる認知症予防、閉じこもりの防止へとつなげていく。											
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 13年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし											
根拠法令・要綱等		東員町元気老人サロン事業実施要綱											
		平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）					
全体事業費（千円）A+B		8,752			9,251			4,158					
財源内訳	国庫支出金		0			0			0				
	県支出金		0			0			0				
	地方債		0			0			0				
	その他特定財源		0			0			0				
	一般財源		7,234			7,733			2,640				
直接事業費（千円）A		7,234			7,733			2,640					
人件費（千円）B		1,518			1,518			1,518					
内訳	一般職員（人・千円）		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518						
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0						
成果指標	成果指標名				単位		27年度		28年度		29年度		
							目標 実績		（目標）		（目標）		
	① サロン開催回数				回		650 712						
	②												
③													
説明		平成28年度は新事業へ補助（支援）を移行するための経過措置期間であり、平成28年度末に廃止となるため目標を設定しない。											

事業名	元気老人サロン活動事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	-------------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の方々は生きがいや健康保持に関心を持ち、自らの意識で参加していただいています。今後は、地域支えあい活動、介護予防活動事業の支援（補助）へ移行していくこととなります。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	シニアクラブ補助金との重複部分は、シニアクラブ活動補助事業へ移行していくこととなります。	
達成度	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	町内全23自治会で開催し、活発に活動を行っています。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。 	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地域支えあい活動事業、介護予防活動事業、シニアクラブ活動事業へ支援（補助）を移行していくこととなります。	

本事務事業の実施適切性の説明

施策の見直しにより、地域支えあい活動事業、介護予防活動事業、シニアクラブ活動事業へ支援（補助）を移行していくため、平成28年度は経過措置期間とし、廃止になります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	3	2	(8) B 5 7 A	(7) (6) D (5) (6) C (8)
	今後の方針	休・廃止 ○		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	地域支えあい活動事業、介護予防活動事業、シニアクラブ活動事業への支援（補助）がスムーズに移行できるよう、意見交換を重ねていきます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	3	2	(8) B 5 7 A	(7) (6) D (5) (6) C (8)
	今後の方針	休・廃止 ○		見直し	継続	拡大	
コメント	平成28年度末廃止に向け、活動内容を整理し、各事業の支援（補助）へ移行していく必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--